

訪問&病院看護師むけ
臨床研究・治験研修会

DCTを導入?!

治験を在宅で行うようになったら、
看護師は何に留意する?
～治験のい・ろ・はを学びましょう～

日時 2024年

2月2日(金)
17:30～20:00

申し込み締め切り
2024年1月19日(金)

参加
無料

開催方法

ハイブリッド開催
現地 & オンライン(Zoom)

会場

京都大学医学部附属病院 外来棟会議室
大阪大学 中之島センター
神戸大学医学部附属病院 福利厚生施設会議室
岡山大学鹿田キャンパス 鹿田会館・講堂(旧生化学棟)

対象者

訪問看護師、病院看護師、
その他医療関係者等

※管理職の方もぜひご参加ください。

申し込み方法

詳細/申し込み方法は、
ホームページから
ご確認ください。



<https://forms.gle/6ag14aQgv5tvdwch9>

問い合わせ先

岡山大学病院研究推進課
TEL 086-235-6993
E-mail mae6605@adm.okayama-u.ac.jp



OKAYAMA
UNIVERSITY

訪問&病院看護師むけ 臨床研究・治験研修会

従来、臨床研究 / 治験は、病院をはじめとする医療機関内で実施されてきました。しかし、高齢者や難病などに罹患された患者にとって、通院は大きな負担であり、近年は来院困難患者に優しい環境づくりが期待されています。

DCT(分散型臨床試験)と言われる方法がグローバルを中心に導入されており、わが国でも拡大をみせていることを、皆さんはご存じでしょうか。

DCTとは、投薬・診察・検査・評価・観察などを医療機関で来院することなく行う方法です。オンライン診療やウェアラブルデバイス、ITツールなどを活用することで患者の自宅や介護施設等にて治験に参加できるようになります。

この新しい仕組みでは、患者の日常を知り医療を提供する看護職(訪問看護師・病院看護師)の役割は大きく、臨床研究・治験理解を深める教育は不可欠といえます。

DCTが普及することで、病院が遠方にあることや通院のための手段がないことで臨床研究 / 治験参加を諦めていた患者も、治験参加の可能性が生まれます。身近な看護職が臨床研究・治験についての知識があることで患者は心理的にもどれほど安心なことでしょうか。また、ある日突然にDCT導入が始まった際に、医療者として不安なく取り組むためには知識を持っていることが重要です。

ぜひ、この研修会を新たな医療を創る担い手としてご活用いただければと思います。

プログラム

臨床研究の歴史 / 倫理的ガイドライン制定の経緯

大阪大学医学部附属病院 臨床研究センター 山本 洋一

臨床薬理学の基礎等

京都大学医学部附属病院 早期医療開発科 / 次世代医療・iPS細胞治療研究センター 深堀 理

治験薬開発のプロセスに関わる各施設の役割と責任を理解できる ～企業治験と医師主導治験の特徴～

神戸大学医学部附属病院 臨床研究推進センター 五百蔵武士

治験薬管理の実際

京都大学医学部附属病院 先端医療研究開発機構 臨床研究支援部 老本名津子

臨床試験の実施に関わる費用と制度

長崎大学病院 臨床研究センター 鶴丸 雅子

データの品質を保证するためのプロセス

大阪大学医学部附属病院 臨床研究センター 田尻 貴裕

モニタリング、監査、規制当局による査察の理解等

岡山大学病院 新医療研究開発センター 斎藤まど香

治験・臨床研究に関わる人々の役割と研究協力者として必要な倫理的態度

ソフィアメディ株式会社 金川 和弓

● 質疑応答